

5 月 「若葉薫る 立夏」

「日立市気象年報」(CD-R)を配布  
しています。詳しくは電話でお問い  
合わせください。

日立市の天気予報はホームページで  
毎日発表しています。

(直通電話：22-5520)

<http://www.jsdi.or.jp/~htenso>

立春から数えて88日目にあたる5月2日は「八十八夜」。「八十八夜の別れ霜<sup>わかれしも</sup>」  
ということばがあります。一年365日を春夏秋冬に分けると、それぞれの季節  
はおおよそ90日となりますが、晩春から立夏が近づく88日目の日を、昔から農  
事の目安としてきました。日立で過去最も遅く霜が降りたのは5月4日(1991  
年)となっています。やはり「別れ霜」の季節といえます。

6日は「立夏<sup>りっか</sup>」。<sup>こよみ</sup>暦の上での夏のはじまりです。

このころ、日立の日平均気温はおおよそ15℃で、これは10月下旬の気温とほ  
ぼ同じですが、この時季の太陽光線の強さは、真夏の8月上旬と同じで、しか  
も日を追って強くなっていきます。つまり5月は、気温は春でも太陽は真夏な  
のです。新緑を求めて野に山に出かけるときは、「日焼け」などには注意が必要  
です。

しかし、同じころ北の札幌ではサクラが開花し、南の沖縄地方ではもう梅雨  
入りの季節となります。南北に長い日本列島、季節の違いを実感させられる月  
でもあります。

さて、日立市の最高峰である十王町黒坂の「<sup>たつわれさん</sup>豎破山」(標高658m)には「ブ  
ナ」の自然林が残っています。豊かな森の象徴である「ブナ」は<sup>しらかみさんち</sup>白神山地のよ  
うに、標高の高い寒冷な地に生育すると考えられていますが、昨年市内の環境  
団体が調査したところ、幹周りが3メートルを超える巨木から若木まで、126  
本もの「ブナ」が確認されました。

豊かな森の樹木は無数の葉で<sup>こうごうせい</sup>光合成を行い、木が生長するための栄養分がつ  
くられます。森の空気が<sup>すがすが</sup>清々しいのは、光合成のときに出す酸素のおかげです。  
新緑の5月、市内にある「ブナ」の森に足を運んでみてはいかがでしょうか。

日立の気候表 ※1971～2000年の平年値

	4月	5月	6月
平均気温℃	12.0	16.1	19.1
降水量mm	137.5	160.6	169.4
日照時間	174.9	174.7	114.7